

安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名	ウォッチグリース S-3
会社名	セイコーワオッヂ株式会社
住所	〒104-8118 東京都中央区銀座1丁目26-1
担当部門	品質保証部
電話番号	03-3564-4587
FAX番号	03-3564-5444
緊急連絡先	盛岡セイコーアイダ株式会社 時計製造技術部
緊急連絡電話番号	019-692-3511
緊急連絡FAX番号	019-692-5686
整理番号	SWC0812
推奨用途	潤滑剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

水生環境有害性(長期間) 区分3。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

P273: 環境への放出を避けること。

P501: 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

知見なし。

GHS分類に該当しない他の

危険有害性

3. 組成および成分情報

化学物質、混合物の区别

混合物。

一般名

モリブデングリース。

成分および含有量

成分名	化学特性	含有量 (質量%)	CAS番号	化学物質 審査規制法番号	労働安全 衛生法番号	GHS分類
二硫化モリブデン	MoS2	65	1317-33-5	(1)-481	603	—
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	—	≥30~ <40	64742-54-7	—	—	—
12-ヒドロキシステアリン酸リチウム	—	≥1~ <10	7620-77-1	(2)-1416	—	—
亜鉛(C1-C14)ジアルキルジチオリン酸塩	—	≥0.1~ <1	68649-42-3	—	—	—
石油系炭化水素(鉱油)	—	≥0.1~ <1	—	—	168	—
石油系炭化水素(鉱油)	—	≥0.1~ <1	—	—	168	—
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	—	<0.1	15337-18-5	(2)-2886	—	—

官報公示整理番号

(化学物質審査規制法、
労働安全衛生法)

安全データシート

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の場所に移動させる。必要に応じて医師の診断を受ける(文献1)。

皮膚に付着した場合

多量の水または微温湯と石鹼で、付着した部分を洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合

清浄な水で十分に目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

無理に吐かせない。水で口をよくそそぐ。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。(文献2)。

知見なし。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報

応急措置をする者の保護

救命救急要員に必要となる特別な注意事項なし。

医師に対する特別な注意事項

支持療法および対症療法を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素が有効である。

使ってはならない消火剤

知見なし。

特定の消火方法

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消化手段を用いる。未開封の容器を冷却するためには水を噴霧する。安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。区域より退避させること。

特定の危険有害性

燃焼生成物へのばく露は健康に害をおよぼす場合がある。

有害燃焼副産物

金属酸化物、硫黄酸化物、炭素酸化物。

消火を行う者の保護

消化活動時には保護具を使用する。必要に応じて自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

安全な取扱いの助言や個人保護具の推奨事項に従う。

保護具および緊急措置

環境に対する注意事項

環境への放出は必ず避けなければならない。安全を確認してから漏れやこぼれを止める。汚染された洗い水を保持し処理する。流出が著しく、回収ができない場合は、現地当局に通告すべきである。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

不活性な吸収剤で吸収させる。多量にこぼれた場合、防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げができる場合には、回収した物質を適切な容器内に保管する。漏洩物質を適切な吸収剤で除去すること。本物質を放出および廃棄処理する際、およびその浄化に使用した資材や品目を廃棄する際には、国や地方自治体の規制が適用されることがある。どの規則が適用されるかを決定する必要がある。本SDSの項目13および15では、国または特定の地域の基準に関する情報が掲載されている。

安全データシート

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

ばく露防止および保護措置の項の設備対策を参照。

局所排気、全体換気

適切な換気装置の下でのみ使用する。

安全取扱い注意事項

皮膚への長期または反復接触を避ける。十分な衛生的作業を行い安全規定に従つて取扱う。漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。

接触回避

酸化剤。

衛生対策

作業場の近くに目の洗浄装置と安全シャワーが設置されていることを確認する。使用中は飲食および喫煙を禁止する。汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。これらの注意事項は、室温で取扱う場合に適応される。室温より高温で使用する場合やエアゾール/スプレー用途には、それ以外の注意事項も適用されることがある。

保管

安全な保管条件

適切なラベルのついた容器に入れ、国や地方自治体の規定に従つて保管する。

混触禁止物質

次の製品種類といっしょに保管しない:強酸化剤。

安全な容器包装材料

適さない材質:知見なし。

8. ばく露防止および人に対する保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分名	CAS番号	指標 (ばく露形態)	管理濃度 ／許容濃度	出典
二硫化モリブデン	1317-33-5	TWA(吸入濃度)	10mg/m ³ (モリブデン)	ACGIH
		TWA(呼吸濃度)	3mg/m ³ (モリブデン)	ACGIH
12-ヒドロキシステアリン酸リチウム	7620-77-1	TWA	10mg/m ³	ACGIH
石油系炭化水素(鉛油)	—	OEL-M(ミスト) TWA(吸入濃度)	3mg/m ³ 5mg/m ³	日本産業衛生学会(許容濃度) ACGIH
		詳細情報:発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示されている物質。III. 発がん物質の全文参照。発がん物質、「第1郡」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。		
石油系炭化水素(鉛油)	—	OEL-M(ミスト) TWA(吸入濃度)	3mg/m ³ 5mg/m ³	日本産業衛生学会(許容濃度) ACGIH
		詳細情報:発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示されている物質。III. 発がん物質の全文参照。発がん物質、「第1郡」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。		

設備対策

特に閉所では十分な換気の確保が必要。作業場におけるばく露濃度を最低限に抑えること。

保護具

呼吸器用の保護具

適切な局所排気装置が供給されない場合や、ばく露評価によってばく露量が推奨ばく露ガイドライン以下であることが証明されない場合には、呼吸器用保護具を着用すること。

フィルタータイプ

微粒子用と有機蒸気用の複合タイプ。

手の保護具

耐油性(不浸透性)保護手袋を着用する。

備考

長時間あるいは繰返し接触がある場合、着用する。休憩前や終業時には手を洗う。

目の保護具

次の個人保護具を着用する:安全眼鏡。

皮膚および身体の保護具

接触後、皮膚を洗浄する。

安全データシート

9. 物理的および化学的性質

物理的状態

外観

形状

固体(ペースト)。

色

濃灰色(チャコール)。

臭い

なし。

臭いのしきい値

現在のところ有用な情報なし。

pH

非該当。

物理的状態が変化する特定

の温度

沸点

非該当。

融点

現在のところ有用な情報なし。

凝固点

現在のところ有用な情報なし。

滴点

現在のところ有用な情報なし。

引火点

≥100°Cセタ密閉式。

燃焼性(固体、気体)

蒸発速度

引火の危険性として分類されていない。

蒸気圧

非該当。

蒸気密度

非該当。

爆発特性

現在のところ有用な情報なし。

爆発限界上限

非爆発性。

爆発限界下限

現在のところ有用な情報なし。

密度(比重)

1.86g/cm³。

溶解度(水溶性)

現在のところ有用な情報なし。

n-オクタノール／水分配係数

現在のところ有用な情報なし。

自然発火温度

現在のところ有用な情報なし。

分解温度

現在のところ有用な情報なし。

粘度

現在のところ有用な情報なし。

酸化特性

この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

分子量

現在のところ有用な情報なし。

10. 安定性および反応性

反応性

反応性危険としては分類されない。

化学的安定性

通常の状態では安定。

危険有害反応可能性

強い酸化剤と反応することがある。150°Cを超える温度まで空気中で加熱されると、製品はホルムアルデヒドの蒸気を発生することがある。安全な取扱い条件はホルムアルデヒドの蒸気濃度を労働衛生安全限界値内に保つことにより維持される。

避けるべき条件

知見なし。

混触危険物質

酸化剤。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物は知られていない。

安全データシート

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情報 皮膚接触、眼接触、摂取。

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分名	急性毒性	種	方法	結果	備考
二硫化モリブデン	経口 LD50	ラット	OECD試験ガイドライン401	>2,000mg/kg	アセスメント:この物質または混合物は急性の経口毒性はない
	経皮 LD50	ラット	OECD試験ガイドライン402	>2,000mg/kg	アセスメント:この物質または混合物は急性の経皮毒性はない
	吸入 LC50	ラット	—	>2.82mg/L	試験環境:ダスト/噴霧 ばく露時間:4h
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	経口 LD50	ラット	OECD試験ガイドライン401	>5,000mg/kg	同類の材料によるデータに基づく
	経皮 LD50	ウサギ	OECD試験ガイドライン402	>5,000mg/kg	同類の材料によるデータに基づく
	吸入 LC50	ラット	OECD試験ガイドライン403	>5.53mg/L	アセスメント:この物質または混合物は急性の吸入毒性はない 試験環境:ダスト/噴霧 ばく露時間:4h 同類の材料によるデータに基づく
12-ヒドロキシステアリン酸リチウム	経口 LD50	ラット	—	>2,000mg/kg	アセスメント:この物質または混合物は急性の経口毒性はない
亜鉛(C1-C14)ジアルキルジチオリン酸塩	経口 LD50	ラット	—	>5,000mg/kg	—
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	経口 LD50	ラット	—	>5,000mg/kg	同類の材料によるデータに基づく
	経皮 LD50	ウサギ	—	>2,000mg/kg	アセスメント:この物質または混合物は急性の経皮毒性はない 同類の材料によるデータに基づく

皮膚腐食性および皮膚刺激性 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分名	種	方法	結果	備考
二硫化モリブデン	ウサギ	OECD試験ガイドライン404	皮膚刺激なし	—
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	ウサギ	—	皮膚刺激なし	同類の材料によるデータに基づく
12-ヒドロキシステアリン酸リチウム	ウサギ	—	皮膚刺激なし	同類の材料によるデータに基づく
亜鉛(C1-C14)ジアルキルジチオリン酸塩	ウサギ	—	皮膚刺激性	—
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	ウサギ	ドレイズ試験	皮膚刺激性	同類の材料によるデータに基づく

安全データシート

眼に対する重篤な損傷性 利用可能な情報に基づく限り分類できない。
または眼刺激性

成分名	種	方法	結果	備考
二硫化モリブデン	ウサギ	OECD試験ガイドライン405	眼への刺激なし	—
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	ウサギ	OECD試験ガイドライン405	眼への刺激なし	同類の材料によるデータに基づく
12-ヒドロキシステアリン酸リチウム	ウサギ	—	眼への刺激なし	同類の材料によるデータに基づく
亜鉛(C1-C14)ジアルキルジオリン酸塩	ウサギ	—	眼への刺激なし	—
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	—	—	眼への刺激、 21日以内に回復	同類の材料によるデータに基づく EU規則1272/2008附則IVで既定の統一分類に基づく

呼吸器感作性または皮膚感作性 呼吸器感作性:利用可能な情報に基づく限り分類できない。
 皮膚感作性:利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分名	種	方法	結果	備考
二硫化モリブデン	モルモット	最大化試験	陰性	ばく露の主経路:皮膚接触
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	モルモット	OECD試験ガイドライン406 ビューラー試験	陰性	ばく露の主経路:皮膚接触 同類の材料によるデータに基づく
12-ヒドロキシステアリン酸リチウム	マウス	ECD試験ガイドライン429 局所リンパ節アッセイ(LLNA)	陰性	ばく露の主経路:皮膚接触
亜鉛(C1-C14)ジアルキルジオリン酸塩	—	—	—	アセスメント:ヒトにおける皮膚感作性の見込みまたは証拠
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	—	—	陽性	ばく露の主経路:皮膚接触 アセスメント:ヒトにおける皮膚感作性の見込みまたは証拠 同類の材料によるデータに基づく EU規則1272/2008附則VIで既定の統一分類に基づく

生殖細胞変異原性 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分名	遺伝毒性	種	方法	結果	備考
二硫化モリブデン	in vitro	—	OECD試験ガイドライン471 微生物復帰突然変異試験(AMES)	陰性	—
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	in vitro	—	OECD試験ガイドライン471 微生物復帰突然変異試験(AMES)	陰性	—
	in vivo	マウス	OECD試験ガイドライン474 哺乳動物赤血球小核試験(in vivo細胞毒性試験)	陰性	投与経路:腹腔内注射 同類の材料によるデータに基づく
亜鉛(C1-C14)ジアルキルジオリン酸塩	in vitro	—	微生物復帰突然変異試験(AMES)	陰性	—
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	in vitro	—	OECD試験ガイドライン471 微生物復帰突然変異	陰性	同類の材料によるデータに基づく
	in vivo	ラット	in vivo哺乳類肝細胞を用いる不定期DNA合成試験(UDS)	陰性	投与経路:飲み込んだ場合 同類の材料によるデータに基づく

安全データシート

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分名	種	方法	結果	備考
二硫化モリブデン	ラット	—	陰性	ばく露時間:232日 投与経路:飲み込んだ場合
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	マウス	OECD試験ガイドライン451	陰性	ばく露時間:78週 投与経路:皮膚接触 同類の材料によるデータに基づく

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分名	影響	種	方法	結果	備考
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	妊娠	ラット	生殖/発生毒性スクリーニング試験	陰性	投与経路:飲み込んだ場合 同類の材料によるデータに基づく
	胎児の発育	ラット	OECD試験ガイドライン414 受精卵および胎児発育	陰性	投与経路:皮膚接触 同類の材料によるデータに基づく
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	妊娠	ラット	二世代生殖毒性試験	陰性	投与経路:飲み込んだ場合 同類の材料によるデータに基づく
	胎児の発育	ラット	受精卵および胎児発育	陰性	投与経路:飲み込んだ場合 同類の材料によるデータに基づく

特定標的臓器毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分名	ばく露	備考
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	単回	アセスメント:呼吸器への刺激の恐れ 同類の材料によるデータに基づく
12-ヒドロキシステアリン酸リチウム	反復	ばく露の主経路:飲み込んだ場合 アセスメント:濃度範囲100mg/kg bw以下では動物における重大な健康への影響はなかった

反復投与毒性

成分	種	方法	結果(NOAEL)	備考
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	ウサギ	OECD試験ガイドライン410	1,000mg/kg	投与経路:皮膚接触 ばく露時間:4週 同類の材料によるデータに基づく
	ラット	—	>980mg/m ³	投与経路:吸入(ダスト/噴霧/煙) ばく露時間:4週
12-ヒドロキシステアリン酸リチウム	ラット	—	>88mg/kg	投与経路:飲み込んだ場合 ばく露時間:90日
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	ラット	—	41mg/kg	投与経路:飲み込んだ場合 ばく露時間:17週 同類の材料によるデータに基づく

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分	備考
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	この物質または混合物は、人が吸引すると毒性の危険性があることが知られている。または、人による吸引毒性の危険を生じるものであるとみなさなければならない。

安全データシート

12. 環境影響情報

生体毒性

成分	毒性	種	方法	結果	備考
二硫化モリブデン	LC50	魚 (ファットヘッドミノウ)	—	644.2mg/L	ばく露時間:96h 同類の材料によるデータに基づく
	EC50	ミジンコ等の水生無脊椎動物 (オオミジンコ)	OECD試験ガイドライン202	130.9mg/L	ばく露時間:48h 同類の材料によるデータに基づく
	EC50	藻類 (緑藻)	OECD試験ガイドライン201	289.2mg/L	ばく露時間:72h 同類の材料によるデータに基づく
	最大無影響濃度 (慢性毒性)	魚 (ニジマス)	—	>17mg/L	ばく露時間:12か月 同類の材料によるデータに基づく
	最大無影響濃度 (慢性毒性)	ミジンコ等の水生無脊椎動物 (オオミジンコ)	—	156.5mg/L	ばく露時間:21日 同類の材料によるデータに基づく
	最大無影響濃度	バクテリア	—	>950mg/L	ばく露時間:17日 同類の材料によるデータに基づく
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	LC50	魚 (ファットヘッドミノウ)	OECD試験ガイドライン203	>100mg/L	ばく露時間:96h 同類の材料によるデータに基づく
	EC50	ミジンコ等の水生無脊椎動物 (オオミジンコ)	OECD試験ガイドライン202	>10,000mg/L	ばく露時間:48h 同類の材料によるデータに基づく
	EC50	藻類 (緑藻)	OECD試験ガイドライン201	>100mg/L	ばく露時間:72h 同類の材料によるデータに基づく
	最大無影響濃度 (慢性毒性)	ミジンコ等の水生無脊椎動物 (オオミジンコ)	OECD試験ガイドライン211	10mg/L	ばく露時間:21日 同類の材料によるデータに基づく
	最大無影響濃度	バクテリア	DIN 38 412 Part 8	>1.93mg/L	ばく露時間:10min 同類の材料によるデータに基づく
亜鉛(C1-C14)ジアルキルジチオリン酸塩	EC50	ミジンコ等の水生無脊椎動物 (オオミジンコ)	—	2.1mg/L	ばく露時間:48h
石油系炭化水素(鉱油)	環境毒性アセスメント水生環境有害性 (急性)	—	—	本製品には既知の生体毒性はない	—
	水生環境有害性(長期間)	—	—	本製品には既知の生体毒性はない	—

安全データシート

成分	毒性	種	方法	結果	備考
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	LC50	魚 (グッピー)	OECD試験ガイドライン203	>16mg/L	ばく露時間:96h 同類の材料によるデータに基づく
	EC50	ミジンコ等の水生無脊椎動物 (オオミジンコ)	—	0.74mg/L	ばく露時間:48h 同類の材料によるデータに基づく
	EC50	藻類 (クロレラ・ピュレノイドサ)	OECD試験ガイドライン201	1.1mg/L	ばく露時間:96h 同類の材料によるデータに基づく
	M-ファクター (水生有害性 (急性))	—	—	1	—
	最大無影響濃度 (慢性毒性)	魚 (ゼブラフィッシュ)	—	0.32mg/L	ばく露時間:10日 同類の材料によるデータに基づく
	最大無影響濃度 (慢性毒性)	ミジンコ等の水生無脊椎動物 (オオミジンコ)	—	0.0032mg/L	ばく露時間:21日 同類の材料によるデータに基づく
	M-ファクター (水生有害性 (長期間))	—	—	10	—
	EC50	バクテリア	—	1,428mg/L	ばく露時間:3h 同類の材料によるデータに基づく

残留性・分解性

成分	分解性	方法	結果	備考
水素処理重質パラフィン系蒸留物(石油)	生分解性	OECD試験ガイドライン301F	易分解性でない 生分解31%	ばく露時間:28日
12-ヒドロキシステアリン酸リチウム	生分解性	OECD試験ガイドライン301C	易分解性 生分解78%	ばく露時間:28日
亜鉛(C1-C14)ジアルキルジチオリン酸塩	生分解性	OECD試験ガイドライン301B	易分解性でない 生分解27%	ばく露時間:28日
亜鉛ビス(ジペンチルジチオカルバメート)	生分解性	—	易分解性でない 生分解2%	ばく露時間:28日 同類の材料によるデータに基づく

生体蓄積性	データなし。
土壤中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	非該当。
他の有害影響	データなし。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物

現地の規定に従い、処分する。

汚染容器および包装

製品入り容器と同様に処分する。

空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

安全データシート

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)	危険物として規制されていない。
航空輸送(IATA-DGR)	危険物として規制されていない。
海上輸送	
IMDGコード	危険物として規制されていない。
MARPOL73/78附属書 ⅡおよびIBCコードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)	供給された状態の製品には不適用。
国内規制	項目15を参照する。

15. 適用法令

化学物質審査規制法(ENCS)	特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
化学物質排出把握管理促進法(PRTR)	
第1種指定化学物質	モリブデンおよびその化合物:法令番号453、モリブデンとして含有量39質量%.
労働安全衛生法(ISHL)	
製造等が禁止される有害物 (施行令第16条)	該当しない。
製造の許可を受けるべき有害物 (施行令第17条)	該当しない。
名称等を表示すべき危険物および有害物(施行令第18条)	該当しない。
名称等を通知すべき危険物および有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)	鉱油:法令番号168、含有量 \geq 30~<40質量%. モリブデンおよびその化合物:法令番号603、含有量 \geq 60~<70質量%.
変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)(法第57条の3)	該当しない。
変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)(法第57条の4)	該当しない。
危険物(施行令別表第1)	該当しない。
特定化学物質障害予防規則	該当しない。
鉛中毒予防規則	該当しない。
四アルキル鉛中毒予防規則	該当しない。
有機溶剤中毒予防規則	該当しない。
健康障害防止指針公表物質 (法第28条の3)	該当しない。
毒物および劇物取締法	該当しない。
消防法	指定可燃物、合成樹脂類、その他のもの(3,000kg)。
火薬類取締法	該当しない。
高圧ガス保安法	該当しない。
航空法	危険物に該当しない。
船舶安全法	危険物に該当しない。
廃棄物の処理および清掃に関する法律	産業廃棄物。
海洋汚染等および海上災害の防止に関する法律	
ばら積み輸送	供給された状態の製品には不適当。
個品輸送	海洋汚染物質には該当しない。
道路法	施行令第19条の13(通行制限物質)に該当しない。
輸出貿易管理令	別表第1、16項(キャッチオール規制) 第6部 第34類 HSコード(輸出統計品目番号):3403.19。

安全データシート

既存化学物質リスト

化学物質審査規制法

現有化学物質リスト(ENCS) : 日本

労働安全衛生法

現有化学物質リスト(IHL) : 日本

現有化学物質名録(IECSC) : 中国

リーチ法(REACH) : 欧州

有害物質規制法

現有化学物質台帳(TSCA) : 米国

化学物質台帳

(AICS) : オーストラリア

全成分が登録されているか、除外規定が適用される。

全成分が登録されているか、除外規定が適用される。

全成分が登録されているか、除外規定が適用される。

全成分が登録されているか、除外規定が適用される。

全成分が登録されているか、除外規定が適用される。

全成分が登録されているか、除外規定が適用される。

16. その他の情報

引用文献: 化学品法令集、当社技術資料その他

1. ANZI Z 129.1-1994 American National Standard Institute。
2. 絵で見る中毒110番(保健同人社)。
3. 原材料メーカー技術データ、原材料SDSに基づくデータ。
4. OECD eChemポータルおよび欧州化学物質局 <http://echa.europa.eu/> の検索結果。

その他の略語の全文

日本産業衛生学会(許容濃度): 許容濃度等の勧告 - I . 化学物質の許容濃度。

日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-M: 許容濃度。

ACGIH: 米国。ACGIH限界閾値(TLV)。

ACGIH / TWA: 8時間、時間加重平均。

記載内容の取扱い

安全データシートは、JIS Z 7253:2012に沿って、現時点入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関してはいかなる保証をなすものではありません。また、法令の改正および新しい知見に基づいて改訂することができます。本安全データシートは、本製品の通常の取扱いを対象とし、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者に提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

* * * * 最終頁 * * * *